



2025年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年9月11日

上場会社名 モイ株式会社 上場取引所 東
コード番号 5031 URL <https://about.moi.st/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤松 洋介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 入山 高光 TEL 03-3527-1471
半期報告書提出予定日 2024年9月11日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第2四半期（中間期）の業績（2024年2月1日～2024年7月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期中間期	3,268	2.0	132	20.7	144	24.7	111	20.4
2024年1月期中間期	3,203	△1.2	109	30.1	115	36.7	92	45.7

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期中間期	8.00	8.00
2024年1月期中間期	6.65	6.64

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期中間期	3,893		1,955			50.2
2024年1月期	3,679		1,844			50.1

(参考) 自己資本 2025年1月期中間期 1,955百万円 2024年1月期 1,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年1月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,536	1.6	165	15.8	187	19.3	-	-	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年1月期中間期	13,966,000株	2024年1月期	13,966,000株
2025年1月期中間期	－株	2024年1月期	－株
2025年1月期中間期	13,966,000株	2024年1月期中間期	13,966,000株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
中間会計期間	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化がさらに進み、緩やかな回復傾向が継続する一方で、物価高騰、世界的な金融資本市場の変動等の影響により、引き続き不透明な状況が継続しています。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、日本における2024年3月末時点の移動系通信の契約数は、2億2,200万回線(前年同期比5.3%増)と緩やかな増加が続いております。(出所:総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表(令和5年度第4四半期(3月末))」)。また、当社がターゲットとする動画投稿・ライブ配信市場においては、グローバルSNSプラットフォームを中心とした新規利用者の増加と、既存利用者による複数サービス併用による利用機会増加の影響で、今後も市場は成長していくことが予想されます。

このような事業環境のもと、当社では、当社サービス「ツイキャス」のユーザーである配信者、リスナー双方のユーザー満足度向上を目指し、新しい公式キャラクターである「ソノヒグラシ」のデビュー発表、各種賞品が当たるユーザー参加型キャンペーンの開催、ホラー、ミステリー、日本アカデミー賞受賞作品など多彩な人気映画作品の共同オンライン視聴配信などを実施しました。またプラットフォームにおける文化の多様性拡大を促進することを目指して、スマートフォンだけで3Dアバターを使った配信が可能となる「3Dアバター」機能や、ユーザー参加型キャンペーンの一体感醸成に寄与する「オンラインクレーンゲーム」機能を公開しました。さらに18歳未満ユーザーの収益化支援のための「メンバーシップU」開設キャンペーン、当社自主音楽レーベル「Moi Records」主催の「歌手フェス vol.1」などを実施し、プラットフォームの経済規模拡大に努めました。

その結果、当中間会計期間において、当社の重要指標の一つである月間平均ポイントPU(Paid Userの略、課金ユーザー数)は、73千(前年同期比3.4%減)の着地となりました。一方で、月間平均ポイントARPPU(Average Revenue Per Paid Userの略、課金ユーザー一人当たりの平均課金額)は6,703円(前年同期比2.6%増)と堅調に推移し、「ツイキャス」のポイント販売売上は2,954百万円(前年同期比0.7%減)となりました。また、実質売上総利益(当社が獲得する売上高合計から、収益化された配信者に対してお支払する報酬額と、Apple Inc., Google Inc.等の決済代行業者に対して支払う手数料を差し引いた金額)については、「メンバーシップ」の成長が継続したこと等の影響により、894,431千円(前年同期比4.3%増)となりました。

以上の結果、当中間会計期間における実績は、売上高が3,268,213千円(前年同期比2.0%増)、営業利益は132,294千円(前年同期比20.7%増)、経常利益は144,574千円(前年同期比24.7%増)となり、中間純利益は111,736千円(前年同期比20.4%増)となりました。

なお、当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は3,893,746千円となり、前事業年度末に比べ214,093千円増加いたしました。

流動資産は3,516,829千円(前事業年度末比222,832千円増加)となりました。主な要因は、現金及び預金の増加277,263千円、預け金の減少63,526千円等によるものであります。

また、固定資産は376,916千円(前事業年度末比8,738千円減少)となりました。主な要因は、サーバー等のインフラ投資の減価償却に伴う工具、器具及び備品の減少24,020千円、本社移転及び供託に伴う差入保証金の増加14,550千円等によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は1,937,932千円となり、前事業年度末に比べ102,357千円増加いたしました。

流動負債は1,937,932千円(前事業年度末比102,357千円増加)となりました。主な要因は、ユーザーへの支払報酬である買掛金の増加21,864千円、チケット・コンテンツの売買取代金及び「メンバーシップ」の会員費である預り金の増加59,353千円、取引先等への支払である未払金の増加17,312千円、未払法人税等の増加32,362千円等によるものであります。

なお、固定負債はありません。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は1,955,814千円となり、前事業年度末に比べ111,736千円増加いたしました。これは、中間純利益111,736千円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.2%(前事業年度末は50.1%)となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は、前事業年度末と比べ213,737千円増加し、2,474,609千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における営業活動により獲得した資金は、234,731千円（前年同期は198,009千円の資金の獲得）となりました。これは主に、税引前中間純利益の計上144,574千円、預り金の増加額59,353千円、売上債権の増加額43,038千円、減価償却費の計上28,755千円、仕入債務の増加額21,864千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における投資活動により支出した資金は、20,017千円（前年同期は215千円の資金の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出4,770千円、保証金の差入による支出15,247千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における財務活動により支出した資金は、60千円（前年同期は11,211千円の資金の獲得）となりました。これは、リース債務の返済による支出60千円によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期の業績予想につきましては、足元の業績動向を踏まえて、2024年3月13日公表の通期業績予想を上方修正しております。詳細につきましては、本日（2024年9月11日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当中間会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,171,016	2,448,280
売掛金	988,642	1,031,681
預け金	89,855	26,328
棚卸資産	124	445
未収還付法人税等	17,933	—
その他	26,662	10,331
貸倒引当金	△237	△237
流動資産合計	3,293,997	3,516,829
固定資産		
有形固定資産	171,084	147,795
投資その他の資産		
差入保証金	105,692	120,242
繰延税金資産	108,877	108,877
投資その他の資産合計	214,570	229,120
固定資産合計	385,654	376,916
資産合計	3,679,652	3,893,746
負債の部		
流動負債		
買掛金	754,318	776,183
未払金	332,262	349,574
前受金	178,273	166,782
未払法人税等	711	33,074
預り金	511,230	570,584
その他	58,777	41,733
流動負債合計	1,835,575	1,937,932
負債合計	1,835,575	1,937,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,944,774	1,944,774
利益剰余金	△150,697	△38,960
株主資本合計	1,844,077	1,955,814
純資産合計	1,844,077	1,955,814
負債純資産合計	3,679,652	3,893,746

(2) 中間損益計算書
(中間会計期間)

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
売上高	3,203,691	3,268,213
売上原価	1,610,764	1,608,608
売上総利益	1,592,927	1,659,605
販売費及び一般管理費	1,483,289	1,527,311
営業利益	109,638	132,294
営業外収益		
受取利息	9	71
受取手数料	5,068	12,475
為替差益	844	—
雑収入	374	707
営業外収益合計	6,296	13,254
営業外費用		
雑損失	—	57
為替差損	—	916
営業外費用合計	—	974
経常利益	115,934	144,574
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前中間純利益	115,934	144,574
法人税等	23,111	32,837
中間純利益	92,823	111,736

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	115,934	144,574
減価償却費	40,560	28,755
固定資産除却損	0	—
為替差損益(△は益)	△844	916
受取利息	△9	△71
受取手数料	△5,068	△12,475
売上債権の増減額(△は増加)	143,046	△43,038
棚卸資産の増減額(△は増加)	△15	△321
前渡金の増減額(△は増加)	△20,939	17,532
前払費用の増減額(△は増加)	△2,660	1,391
その他の流動資産の増減額(△は増加)	251	15,341
仕入債務の増減額(△は減少)	△70,686	21,864
前受金の増減額(△は減少)	1,748	△11,491
預り金の増減額(△は減少)	33,516	59,353
未払金の増減額(△は減少)	△43,109	17,312
その他の流動負債の増減額(△は減少)	4,349	△16,983
小計	196,074	222,659
利息の受取額	9	71
受取手数料の受取額	5,068	12,475
法人税等の支払額	△3,142	△475
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,009	234,731
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△215	△4,770
保証金の差入による支出	—	△15,247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△215	△20,017
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△60	△60
株式の発行による収入	11,272	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,211	△60
現金及び現金同等物に係る換算差額	844	△916
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	209,849	213,737
現金及び現金同等物の期首残高	1,775,817	2,260,871
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,985,667	2,474,609

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前中間純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間会計期間（自 2023年2月1日 至 2023年7月31日）

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載を省略しております。

II 当中間会計期間（自 2024年2月1日 至 2024年7月31日）

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。